



Careoth People Stories

ジュニア

児童発達支援

CHILD DEVELOPMENT SUPPORT



人生を生き抜く力の土台を育む。

子どもと親の笑顔を増やす児童発達支援の現場



「うちの子、少し言葉が遅いかも」「集団生活に違和感があるみたい」...そんな悩みを抱える未就学児と保護者を支えるのが児童発達支援です。今回は福山市御幸町の「夢門塾御幸」取材。保育士歴10年の藤井沙織先生に支援内容や思いをお聞きしました。



夢門塾は福山市御幸町と兵庫県相生市にあり、「運動・遊び」「学習」「生活を組み合わせた支援を実施。理念は「人生を生き抜く力を育てる」。御幸では子ども自身が活動場所を選び、安心できる環境で主体的に取り組めるのが特徴。興味関心を広げながら成長を支えています。

★「自分で選ぶこと」から始まる 夢門塾御幸での活動



児童発達支援は通所受給者証を持つ3〜6歳の未就学児が対象の福祉サービスです。キャレオスは早期支援で将来の生きやすさを高めたいとの思いから事業を展開。児童発達支援から放課後等デイサービス、就労支援まで一貫して成長を支える体制を整えています。

★児童発達支援から就労支援まで切れ目なくサポート

職員4名全員が保育士資格を持ち、ローテーションで関わりながら子どもの興味関心を共有。多様な視点で支援の幅を広げていきます。大切にしているのは思いに耳を傾け、ありのままを受け止めること。無理に急がせず、気持ちに寄り添い柔軟に対応し、安心して笑顔で過ごせる環境を整えています。



★寄り添う支援で子どもの思いを満たす



早期支援は発達土台を整え、生きやすい未来につながります。理解されている安心感の中で子どもはのびのび成長。保護者とも日々情報共有を行い、不安に寄り添います。できることが増えることで親子の笑顔も広がり、通う日が楽しくなる場所となっています。



★早期療育がもたらす、子どもと保護者の変化



夢門塾御幸では「運動」を軸に支援を実施。感覚統合室で体を動かし、信頼関係を築きながら集中力や体の使い方を育みます。学習や生活支援も行い、ひらがなや数、「コミュニケーション」などを無理なく習得。子どもの「やりたい」を大切に、楽しみながら成長を支えています。



★「運動」をツールに、体の使い方と集中力を身につける



児童発達支援 夢門塾御幸の 管理責任者 藤井 沙織先生

取材を終えて

藤井先生の言葉から、子どもたちへの深い愛情と支援への真摯な姿勢が伝わりました。児童発達支援は日々の小さな積み重ねが力になると実感。夢門塾御幸では見学体験を随時受付中。採用情報も公開しているので、興味のある方はぜひご確認ください。

